

年齢	52	歳	性別	男	○女	初診	1958.9.18	作成日	2019.4.7
主訴	纏腰火丹（带状疱疹） (P.511) 左の腰肋間に緑豆大の水疱が発現し、索帯状の配列を呈して2日になる。								
病史	患者には2日前には明らかな誘因も無かったが、左の腰肋間に疼痛や紅赤が出現し、これに継続して緑豆大の水疱が出現し、索帯状の配列を呈した。軽度の発熱、口渇、心煩、失眠、小便黄赤を伴有しているため、来診した。								
四診所見 (検査)	【望診・聞診・問診・切診】 ①神志は清楚 ②面色潤澤 ③形体中等 ④行動は自由にできる ⑤浅表のリンパ節は腫れていない ⑥心肺正常 ⑦肝脾は肋下で触れず、生理反射はあるが、病理反射は引き出せない ⑧患っている処は紅赤で、多くの大小の緑豆大の水疱がある ⑨これに触れると皮膚が発熱している ⑩軽度の発熱 ⑪口渇 ⑫心煩⑬失眠 ⑬小便黄赤								
舌診	⑭舌質：紅 ⑮舌苔：黄								
脉診	⑯脉：弦数								
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】								
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】								
病性弁証	【気病弁証】気虚・気陷・気滞・気逆（肺気・胃気・肝気）・気随血脱・気虚失血・気血両虚 【血病弁証】血虚・血熱・血瘀・気滞血瘀 【津液不足弁証】 【津液病弁証】								

病因弁証	【六淫弁証】 風・寒・暑・湿・燥・火 【七情弁証】 喜・怒・憂・思・悲・恐・惊 【飲食勞倦弁証】 傷食・中毒・過勞・過逸
病 機	
証 名	
弁証分析	
主要な 弁証類型	【中医数学診断学 組】 【中医症状鑑別診断学】
治則治法	
配穴処方	
処方意義 (按語)	